

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名（化学名、製品名）：シーペロ

会社名：株式会社ルーポ

住所：神奈川県藤沢市遠藤2022-7

電話：0466-47-2065

FAX：0466-88-2962

2. 物質の特定

単一製品、混合物の区別：混合物

化学名：---

成分：炭化水素系溶剤（ノルマルパラフィン他）90%以上

化学式又は構造式：---

官報公示整理番号(化審法、安衛法)：---

CAS NO.：---

国連分類：---

3. 危険有害の分類

分類の名称：引火性液体

危険性：可燃性

有害性：

（皮膚）皮膚に触れると炎症を起こすことがある。

（目）目に入ると炎症を起こすことがある。

（吸入）高濃度の蒸気を吸入すると、吐き気、頭痛、めまいを起こすことがある。

（飲み込む）飲み込むと下痢、嘔吐することがある。

4. 応急処置

吸入した場合：

患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：

汚染された衣服などを脱ぎ、触れた部分を、多量の水及び石鹼で十分に洗い流す。

目に入った場合：

直ちに清浄な流水で十分に洗浄し、眼科医の手当てをうける。

飲み込んだ場合：

無理に吐かせないで、医者の手当てをうける。

5. 火災時の処置

消火方法：窒息消火。初期消火には、粉末、炭酸ガス、泡沫、砂などを用いる。

消火剤：粉末、炭酸ガス、泡沫、砂

6. 漏出時の処置

①漏出した液は土砂、土のうなどで流失を防止する。少量の時はウエス等により吸収する。大量の時は缶や吸収機により回収した後、ウエス、乾いた砂などで吸収する。

②回収した液体を廃棄する時は、焼却炉の火室へ噴霧するか、おがくず、ウエス等に吸収させて、焼却炉で少量ずつ安全に処理する。

③作業に際しては、風下を避け保護具を着用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

①指定数量以上の量を取り扱う場合には、法で定められた基準に満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行う。

②炎、火花または高温体との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を飛散させない。

③静電気対策を行い、作業衣、靴等も導電性の物を用いる。

④口で液を吸い上げるようなこと（サイホン）はしない。

⑤皮膚に触れない、目に入る可能性のある場合は保護具を着用する。

⑥室内で取り扱う場合は、十分な換気を行う。換気装置をつける場合は、防爆タイプを用いる

⑦容器を転倒させたり、衝撃を与える等の粗暴な取扱いはしない。

⑧一度栓を開けた容器は必ず密栓しておくこと。

保管

①密閉容器に入れ、涼しくて換気の良い場所（冷暗所等）に直射日光や雨水を避けて貯蔵する。

②危険物の表示をして保管する。

③熱、スパーク、火花並びに静電気を避ける。

④保管場所で使用する電機製品は防爆構造とし、器具類は接地する。

⑤ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。

8. 暴露防止処置

管理濃度：規定なし

許容濃度：日本産業衛生学会：記載なし

ACGIH：記載なし

設備対策：本剤は通常屋外で使用するが、屋内で使用する場合は、局所排気装置を使用する。

塗布作業は風上で行うこと。

保護具：接触のありそうな場合は、側面シールド保護メガネ、長袖の上着および耐油性手袋を着用する。

9. 物理／化学的性質

外観等： 無色透明液体
揮発性： あり
臭気： エーテル臭
溶解度： 20%（水に対して）

10. 危険性情報（安定性、反応性）

引火点： 46.5℃
発火点： 212℃（炭化水素として）
爆発限界： 上限：7% 下限：1%（推定値）
可燃性： あり
酸化性： 無し
自己反応性、爆発性： 無し
安定性： 安定
反応性： 強酸化剤との接触を避ける

11. 有害情報

刺激性:ウサギの皮膚に対して、紅斑、浮腫等の刺激性を示す
急性毒性：経口 ラット LD50 11g/kg以上（推定値）
変異原性：現在のところ有用な情報なし

12. 環境影響情報

分解性：現在のところ有用な情報なし
蓄積性：現在のところ有用な情報なし
魚毒性：現在のところ有用な情報なし

13. 廃棄上の注意

- ①焼却処分に当たっては、焼却炉の火室へ噴霧するか、おがくず、ウエス等に吸収させて、焼却炉で少量ずつ安全に処理する
- ②大量の処理は、産業廃棄物処理業者に委託する
- ③海、河川、湖その付近及び排水溝に破棄してはならない
- ④その他関係法令の定めるところに従う

14. 輸送上の注意

- ①運搬容器及び包装の外部に、品名、数量、危険等級及び「火気厳禁」の表示をする
- ②指定数量以上を車両で運搬する場合は、「危」の標識を車両前後に表示し、消火設備を備える
- ③陸上輸送の場合、運送時の積重ね高さは3m以下とする
- ④第1類及び第6類の危険物との混載禁止
- ⑤その他関係法令の定めるところに従う

15. 適用法令

消防法 危険物第4類第二石油類
労働安全衛生法 危険物
PRT法 非該当

16. その他（記載内容の問い合わせ先、引用文献など）

- ・ 各原料メーカーの資料
- ・ 有機合成化学協会編溶剤ポケットブック他